

11 月 30 日(水曜日)

(第 670 号)

平成 28 年 (2016 年)

# 全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町 2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL <http://www.zenmoku.jp>



主催者挨拶 吉条良明全木連会長

全国から七百名が参加  
木材の復権への決意を新たに宣言決議を採択

## 第五十一回全国木材産業振興大会 富山県大会 開催



開会の言葉 谷崎福井県木連会長

「木材の復権 くウッドファースト社会の実現に向けて」をメインテーマに掲げた第五十一回全国木材産業振興大会が、十一月十日（木）富山県富山市の「富山県民会館」において全国から七百余名が参加し開催された。

第一部は、国歌斉唱の後、谷崎福井県木連会長の開会の言葉、この一年間の物故者に対する黙とうと続き、西村全木連北陸支部長から歓迎の挨拶が行われた。続いて吉条良明全木連会長による主催者挨拶、来賓



来賓祝辞 今井林野庁長官

基調報告に続き、通善一洋石川県木産協代表理事が大会宣言（別掲）を朗読し、満場一致で決議した。さらに森田一行全木連常務理事が、「持続可能な森林経営の基盤確立に向けた行動宣言」について報告し、満場の賛同を得た後、吉条全木連会長による決意表明が行われた。



歓迎挨拶 西村全木連北陸支部長

として出席された今井敏・林野庁長官（山本有二農林水産大臣の代理）、眞鍋純・国交省住宅局住宅生産課長（石井啓一国土交通大臣の代理）、石井隆一富山県知事、森雅志富山市長が祝辞を述べられた。参列された来賓紹介の後、西村元秀富山県木青壮年会長による現地



来賓祝辞 石井富山県知事

第三部の表彰式は、坂東正一郎全木協連会長の挨拶、今井林野庁長官の祝辞の後、退任団体長表彰、木材産業功労者表彰、協同組合事業功績者・優良組合表彰が行われ、山崎勝久富山県木協理事が受賞者を代表して謝辞を述べた。次いで、甲村侑男全木連近畿支部長から次期大会開催地代表挨拶（平成二十九年十一月九



来賓祝辞 真鍋住宅生産課長

第二部は、松竹株式会社映画監督の本木克英氏（富山市出身）による「映画を通して富山を観る」と題した記念講演が行われた。富山県の県民性について地元出身ならではのユニークな分析が会場の笑いを誘っていた。



現地報告 西村富山県木青壮年会長

日、奈良市開催）が行われ、最後に重川隆廣新潟県木連会長が閉会の言葉を述べて、盛会のうちを終了した。この後、富山第一ホテルにおいて、多数のご来賓のご出席の下、懇親会が盛況に開催された。



来賓祝辞 森富山市市長

一昨年十月に、全木連と全森連の両会長による「木材利用拡大なくして日本の森林・林業の活性化は成しえない」との共通認識の下、「ウッドファースト社会の実現に向けた行動宣言」に調印した。昨年十一月には日本林業協会、日本林業経営者協会が加わり

全木連・全森連・林業協会・林協・全業協が行動宣言採択

四団体で、経済界、NGO、地域で活動するグループなどを含めた幅広い国民各層と連携した森林・山村再生、木材利用拡大に向け、法制度の改正も視野に入れた抜本的な対策の実現を目指す、「日本の森林・山村の再生に向けた共同行動宣言」が調印された。



大会宣言 通善石川県木産協代表理事



記念講演 本木監督

第 51 回全国木材産業振興大会

木材の復権  
— ウッドファースト社会の実現に向けて —

宣言決議（案）

木材の利用は、地球温暖化防止や森林・林業の活性化を通じた森林の多面的機能の発揮、地域経済の活性化などにつながり、豊かな暮らし・低炭素社会の実現など国民の安全安心に直結するものである。木材に対する関心は高まってきており、公共建築物、住宅建設はもとより、中高層建築物、非住宅分野などへの木材利用が進んでいる。我々は、木材を優先して活用する「ウッドファースト社会」の実現に向けて、行政をはじめ関係者との連携に積極的に取り組んで来ており、その成果が着実に浸透しつつある。

今後とも、戦後続いてきた木材から非木材への流れを変え、木材の復権を確かなものにするために、安全安心な木材の安定供給体制の構築とともに、これまであまり木材の活用がなされて来なかった分野での木材利用を拡大していくための制度創設など、時代の求める課題を認識し、広く消費者・ユーザーにも理解と支援が得られる取組を木材産業界自らが率先して展開していくことが重要である。

そのために、次の事項について経済界など多様な関係者の連係の下に英知を結集して行動する。

- 1. 木材利用の大幅な拡大を実現するため、森林・林業・木材産業関係者が一体となって法律、制度の見直しを含めた木材利用拡大運動を進める
- 1. 新たな木材利用拡大への支援対策・予算の実現と拡充に取り組む
- 1. 中高層建築物、商業施設等あらゆる分野に木材利用を創出するための技術開発・普及等の取組を進める
- 1. 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への木材利用を拡大する
- 1. 生産・加工・流通体制の構築、税制度の確立、木材貿易の適正推進、A材の利用拡大、木質バイオマスの利用等に取り組む
- 1. 合法木材・木材製品、JAS 製品、乾燥材など、安全安心で品質・性能の確かな木材の供給や人材の育成確保に取り組む

以上、決議する。

平成 28 年 11 月 10 日

第 51 回全国木材産業振興大会

### 持続可能な森林経営の基盤確立に向けた行動宣言

—木材利用促進のための抜本的対策の実現と  
森林資源の循環利用に向けて—

戦後造成された森林資源が成熟し利用期を迎えているが、木材価格の低迷等から森林所有者の経営意欲は低下している。森林を活力ある状態で維持し、地球温暖化防止・地方創生等への最大の貢献を実現していくためには、木材利用を拡大するとともに、再造林等を通じた森林資源の循環利用を促進していくことが、我が国森林・林業・木材産業にとって不可欠な課題となっている。

昨年、各団体で行った行動宣言に基づく取り組みの結果、経済界との連携や 2016 年日本再興戦略において公共建築物等木材利用促進法の見直しも含めて木材利用促進のための対策を検討するとの記述が盛り込まれるなど、森林・林業・木材産業界が一体となった行動の成果が表れ始めてきている。

これまでの取り組みの上に立ち、我々は、日本の森林および山村の再生のため新たな法制度の確立など国産材需要拡大への抜本的対策実現と森林資源の循環利用が確実に推進される体制の確立に向けてさらに連携を深めて取り組んでいく必要がある。

こうした認識のもと、我々 5 団体は力を結集して日本の森林・林業・山村の再生のため、下記の実現に向けて行動することを宣言する。

記

- 1 持続可能な森林管理を実現していくため、公共建築物等木材利用促進法の見直しを含め木材利用促進の抜本的対策の実現に向け、国・地方を通じた取り組みを強化する。
- 2 国産材の安定供給体制の確立のため、森林所有者・林地情報などの基礎的な条件整備等も含めた森林整備促進対策に連携して取り組む。
- 3 「伐って、使って、植えて、育てる」持続可能な森林経営のサイクルを支えるため、経済界をはじめ国民各層から理解と協力を求めつつ、森林資源の循環利用を可能とする仕組みづくりに取り組む。
- 4 地域おこしグループ、NPO など 各層における国民運動の担い手との結びつきを深め、持続的森林経営に対する国民理解の一層の醸成に取り組む。

閣議決定された「2016 日本再興戦略」の中に、「公共建築物等木材利用促進法の見直しを含め、木造・木質化の推進に向けて更なる施策を検討する」との記述が盛り込まれるなど、一体となった行動の成果が表れている。

「伐って、使って、植えて、育てる」という持続可能な森林経営の基盤確立に向けた行動宣言を行い、今大会で了承された。

### 地域挙げての協力体制

大会は、富山県木連を中心に、一般社団法人全国木材組合連合会北陸支部が企画・運営全般を担当し、富山県、富山県緑推、富山コンベンションビューロー等の協力・連携のもと、一般県民が多く利用する県民会館を会場にして P



表彰式挨拶 坂東全木協連会長

## 第 51 回全国木材産業振興大会 栄えの受賞者 (敬称略)

### 前大会以降退任団体長表彰者名簿

### 全木連会長感謝状

### 全木連会長表彰状

### 全木協連会長感謝状

### 木材産業功労表彰者名簿

### 林野庁長官感謝状

大愛静岐石富問群秋	徳山山三長新新岩
阪知岡阜川山屋馬田	島口口重野潟潟手
李服片吉下加岩小鈴	佐高 <sup>故</sup> 大 <sup>故</sup> 黄細渡多豊
保部岡田荒藤瀬室木	隆浩正忠和博肇
夫一昌治久博寛治稔	雄明二稔國彦義彦

愛	静	岐	長	福	富	新	東	神	千	埼	群	枋	山	宮	岩	北	佐	愛	広																		
知	岡	阜	野	井	山	潟	京	川	葉	玉	馬	木	形	城	手	道	賀	媛	島																		
真	天	山	寺	増	市	北	平	永	藤	中	佐	荒	田	角	河	小	豊	川	石	豊	町	新	岡	田	安	千	鈴	菊	齊	山	高	栗	瀬	山			
野	野	脇	澤	島	川	川	口	吉	井	嶋	木	鹿	勝	田	塚	林	田	原	渡	田	井	部	澤	部	葉	木	地	藤	崎	橋	原	村	崎	英	要	照	
稜	昭	善	伸	光	攝	義	喜	良	敬	美	勝	功	信	重	敏	文	昌	隆	光	真	雄	忠	正	範	満	明	行	一	郎	一	郎	一	郎	一	郎	一	郎
司	浩	典	和	一	仁	子	之	昭	実	夫	三	博	久	材	晃	治	一	直	雄	智	之	夫	利	人	祐	基	正	繁	満	明	行	一	郎	一	郎	一	郎



代表謝辞 山崎富山県木協理事

全 沖 宮 大 熊 高 愛 香 徳 山 広 岡 島 和 大 京 滋 三  
 市 歌  
 連 縄 崎 分 本 知 媛 川 島 口 島 山 根 山 阪 都 賀 重  
 樋 鉢 若 三 佐 國 泰 清 松 松 山 下 波 磯 大 浦 葛 島 纒 上 伊 上 小  
 口 嶺 松 宮 藤 友 水 島 倉 田 永 光 田 森 田 本 津 坂 原 東 田 津  
 高 元 泰 朋 三 昭 忠 康 章 芳 幸 正 一 明 佳 浩 修 久 宏 崇 泰  
 良 慶 裕 貞 郎 香 弘 介 公 守 徳 速 一 夫 生 彦 一 之 平 明 一 司 明

愛 静 岐 長 福 富 原 新 材 間 神 埼 群 枋 山 宮 北  
 東 奈 海  
 知 岡 金 恵 山 那 阜 野 井 山 木 京 商 屋 川 玉 馬 木 形 城 道  
 小 町 産 材 加 工 協 同 組 合  
 佐 齋 望 村 井 宇 河 高 宮 田 本 鈴 大 小 渡 小 佐 阜 上  
 々 藤 月 松 出 美 崎 井 戸 村 西 木 原 菅 辺 関 藤 山 坂  
 宏 太 英 諄 一 一 宗 謙 光 宏 孝 伸 正 久 一 久 雄 勝  
 和 志 光 一 彦 巖 平 也 治 信 行 幸 介 治 男 也 一 一 司

全木協連会長表彰状

鹿 宮 熊 高 愛 広 岡 兵 大 岐 福 富 原 木  
 児 場 製 材  
 島 崎 本 知 媛 島 山 庫 阪 阜 井 山 木  
 東 外 隅 濱 梶 佐 大 宮 寺 藤 山 山 菊 井  
 山 田 田 原 木 越 崎 崎 井 村 崎 地 上  
 達 正 重 一 秀 良 英 博 達 勝 邦 哲  
 朗 志 洋 司 雄 清 樹 夫 信 美 夫 久 夫 男

林野庁長官感謝状

協同組合事業功績表彰者  
優良組合表彰名簿



閉会挨拶・乾杯 重川新潟県木連会長



次期大会挨拶 甲村近畿支部長

大 熊 愛 徳 広 岡 和 兵 京 三  
 歌  
 分 本 媛 島 島 山 山 庫 都 重  
 植 岩 原 鶴 曾 栗 中 藤 樋 桑 稲 山 中 杉 笹 草  
 木 田 田 居 部 坂 本 井 口 元 垣 本 塚 原 原 深  
 陽 利 実 美 高 光 雅 正 誠 公 幸 紹 一 隆 明 靖  
 子 恵 生 子 行 明 生 則 郎 司 二 雄 裕 郎 雄 志

# 林業・木材産業の発展を支えます！

昭和38年創立以来、林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行っています。

(対象業種)

- 造林・育林
- 素材生産
- 木材卸売
- 木材・木製品製造
- 薪炭生産
- 林業種苗生産
- きのこ生産



平成26年10月1日より、新たにシステム販売など協定等を締結して木材の安定供給に取り組んでいる方を対象に「木材安定供給保証（ウッド・サポート5000）」を開始しました。詳しくは信用基金までお問合せください。

## 独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (J-7ビル11階)  
 TEL:03(3294)5585~5586 FAX:03(3294)5595  
 URL:http://www.jaffic.go.jp